

病院だより

▶ 看護部より



水無瀬病院には、病棟が3階と4階に2つあります。それぞれどんな病棟なのか、特徴をご紹介します。

3階病棟は一般急性期病床といいます。骨折や脳出血、脳梗塞などで手術治療が必要な方や、脱水や肺炎など急な発症で内科治療が必要な方が入院され、入院期間は2週間前後です。

4階病棟では、3階病棟での入院治療後、緩やかな慢性期治療や長期リハビリテーションが必要となる方に移っていただき、引き続き入院治療が継続されます。

島本町でも、高齢化が他市町村と同じく進んでいます。私たち看護部は、独居の方や介護が必要な方、認知症の方やそのご家族の思いを聴きながら、ともに目標に向かい、住み慣れた町で安心して暮らせるように、看護を提供してまいりますと日々努力を重ねております。



▶ 新入職スタッフ紹介(リハビリテーション部)



リハビリテーション部に理学療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚士1名が入職しました。そのうち5名は今春学校を卒業したばかりです。学生時代に実習を当院で経験し、「水無瀬病院で働けるなら家族で島本町に引っ越します!」と面接でアピールして本当に引っ越してきた者もいます。熱い気持ちでリハビリテーションを提供していきます。



▶ 年頭会



まだ寒さの残る4月3日、毎年恒例となっている年頭会を島本町ふれあいセンターで開催しました。丸茂理事長が新院長を兼任することになった、新しい年度の始まりとなりました。理事長が、地域の医療機関、介護サービス事業所の中身について総括し、全職員対して説明をおこないました。

病院や介護施設に勤務していると日々の業務に追われ、互いの仕事に関して理解しようと思うことが少ないのですが、この会が互いを尊重して思いやる気持ちを生み出す、よい機会となりました。

編集後記



緑が清々しい季節になりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか?

私事ですが、先日生まれて初めてタケノコ堀りに行ってきました。慣れない鎌を使い苦労して地面から掘り出したタケノコは、いつも見る姿と違って輝いているようでした。家に帰ってさっそく調理し、家族でおいしくいただきました。「自分で収穫したものを調理して食べる」という機会は、普段なかなか味わう事ができません。そんな貴重な体験を皆さんも味わってみたいはいかがでしょうか?



発行元: 医療法人 清仁会 水無瀬病院 広報委員会
〒618-0012 島本町高浜3丁目2番26号
Tel:075-962-5151(代) Fax:075-961-5840(代)
<http://minasehp.jp/>



医療法人 清仁会 水無瀬病院

- SAKURA - — 広報誌 —

さくら

Contents

院長就任ご挨拶

新任医師紹介(脳神経外科)

部署の取り組み(放射線科・薬剤科)

病院だより

(看護部より・新入職スタッフ紹介・年頭会)

編集後記

診療担当医表

私たちは、「安心」の二文字をモットーに、
地域社会の発展と皆様の健康を守るために
よりよい医療・福祉サービスを提供します。

院長就任 ご挨拶



院長 脳神経外科
丸茂 岳

4月1日より、水無瀬病院 院長に就任いたしました。

水無瀬病院は、高槻市と長岡京市との間にある唯一の病院です。地域住民の皆様や、近隣医院・クリニックの先生方ならびに介護事業を行っている事業者様にとって、「気軽に相談できて、信頼できる病院」であることが、存在意義です。そのために、診療体制の整備と医療の質向上を継続して参ります。

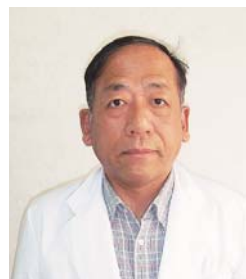
私たち水無瀬病院が目指しているのは、優しい病院です。病気だけを診るのではなく、そのヒトの背景となる家族・生活環境や持病を把握します。ご家族や介護をサポートしている事業者さんと連携し、治療や療養が円滑に行えるように配慮します。訪問診療科が行う在宅医療や、訪問看護・介護による在宅療養のサポート、介護老人保健施設若山荘での病後

の療養・ショートステイなど、切れ目のない医療・介護サービスの提供で、地域に安心のネットワークを広げていきます。

この地域でより多くの貢献ができるように、皆様のお声を聞きながら歩んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



新任医師紹介



脳神経外科
牛渡 一盛

平成29年4月から水無瀬病院 脳神経外科に勤務しております。

これまでは関東地方で20年ほど過ごし、一昨年関西にまいりました。関西での生活は初めてで、日々文化の違いを痛感しております。

私はこれまで、救急病院の第一線で救急患者さんを積極的に受け入れ、必要があれば手術をして元気になって帰ってもらうという日々を送っていました。私は「くも膜下出血」に対する手術を得意としております。くも膜下出血は働き盛りの清壮年に多い、死亡率の高い恐ろしい病気です。その原因のほとんどは脳動脈瘤の破裂です。しかし、破裂する前に脳動脈瘤を見つけて適切に処置すれば、発症を防ぐことができます。また発症しても手術、その後の治療の経過により社会復帰も可能です。

当院でも今後は、くも膜下出血などの高度な救命医療に貢献できればと考えております。

気になる点やご心配なことがありましたら、どうぞお気軽にお声掛けください。



部署の取り組み

薬剤科 紹介

現在、薬剤科は薬剤師3人、薬剤補助者2人によって主に水無瀬病院の入院患者さんの薬剤管理を中心に若山荘、訪問看護部との連携も図りながら院内の薬剤運用を行っています。

薬剤部では患者さんへの思いやりはもちろん、他部署で働くスタッフの業務が少しでもスムーズに行くように思いやりを持って行動し、自部署の都合だけで仕事をしないよう心がけて業務に取り組んでいます。

大幅な業務改善は、マンパワーの面と生産性の面を考慮するとなかなか実行出来ない事も多いのが現状ですが、仲間への思いやりが繋がっていくことで限られた時間を効率よく使用し、患者さんと関わる時間をより長く、大切にできればと思っています。

水無瀬病院の活性化はスタッフの活性化であると思います。働きやすい環境でそれぞれの部署が力を発揮するためにも、患者さん同様、仲間も大切にしながら協力しあって頑張っていきたいと思っています。



放射線科 紹介

一般撮影、骨塩定量、乳腺撮影、CT、MRIなどの検査を行っており、種々の疾患スクリーニング、精密検査を実施しております。

一般撮影

コニカミノルタのワイヤレスデジタルタイプX線撮影装置を導入し、従来に比べ約半分の被曝線量検査が可能です。

骨密度検査

米国ホロジック社の骨密度装置Explorerを使用し、正確かつ安全に骨粗しょう症の診断を行うことができます。

X線CT装置

東芝製マルチスライスCT80列Aquilionを使用し、最新の画像構成技術により低線量撮影時に発生するノイズを大幅に改善し、従来に比べ最大75%の被曝低減を実現します。MRI装置はGE社製signa HDe1.5テスラの装置を使用しておりMRIは磁石と電波の力を利用して人体の内部構造を鮮明に見ることができ、X線による被曝も無い為、安心して受けられる検査です。

